

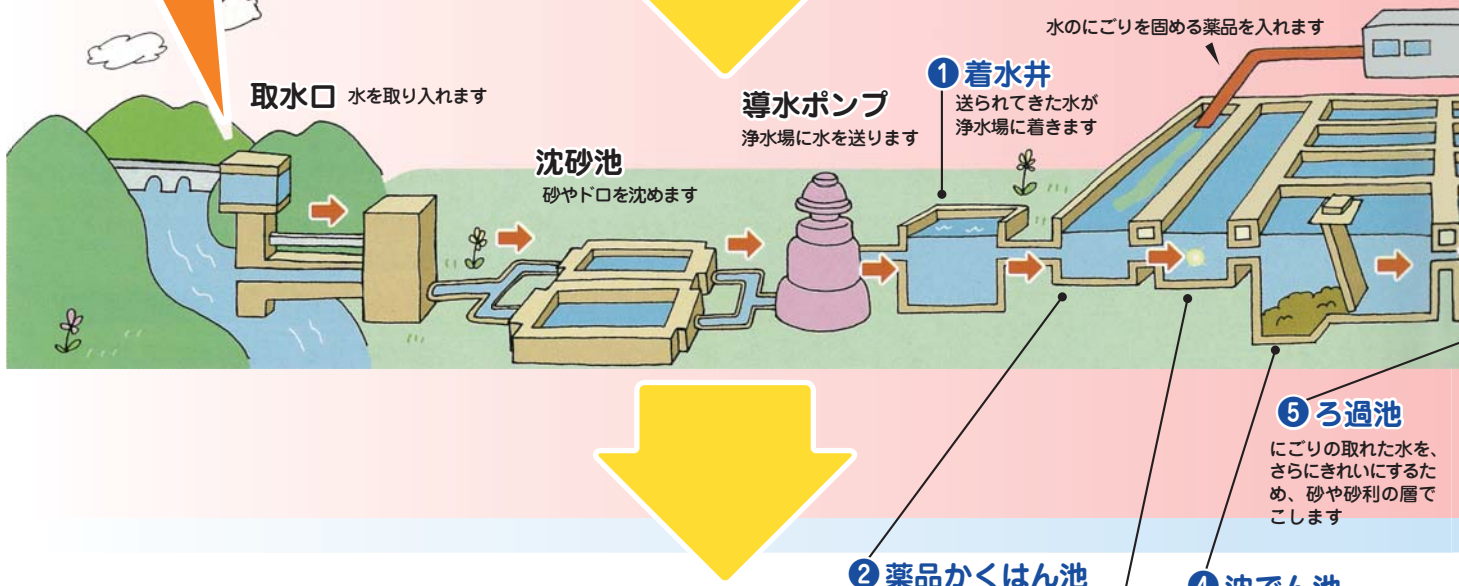
V 水道事業と環境のかかわり

2 水道事業における環境負荷

このページでは、河川や湖沼から原水を取り入れ、浄水場できれいにして家庭や学校へお届けするまでの過程と、その間に発生する環境負荷を図示しています。

取水量
331,416,965^m₃

取水ポンプから
送り出された水量



浄・給水場におけるアウトプット(排出量)

CO ₂	62,152.0 t-CO ₂
NO _x	24.4 t
SO _x	17.0 t
浄水場発生土量	25,208 t
(再資源化量)	25,208 t)
一般廃棄物	37.7 t
浄水場発生土以外の産業廃棄物	41.6 t
(水質センターを含む) ※1	

※1 廃油、廃酸、廃アルカリなどで、工事で発生する産業廃棄物を含めません。

※2 四捨五入の関係で、浄・給水場と庁舎の数値の和が全体の数値と一致しないことがあります。

浄・給水場におけるインプット(使用量)

クリーンエネルギー		
太陽光発電	72.2千kWh	
マイクロ水力発電	3,084.7千kWh	
エネルギー		
電気	152,631.6千kWh	
都市ガス	1,618.6千 ^m ₃	
LPガス	0.76千 ^m ₃	
重油	56.3kl	
ガソリン	0.03kl	
軽油	0.8kl	
車両利用によるガソリン	11.14kl	
車両利用による軽油	0.15kl	
紙 (A4換算)	1,322千枚	
薬品		
硫酸	1,003 t	にごりが固まりやすいレベルに原水のpHを調整します。
ポリ塩化アルミニウム	13,826 t	原水のごりを固めます。
塩素	815 t	水道水の消毒に使用します。
次亜塩素酸ナトリウム	391 t	水道水の消毒に使用します。塩素と比べ管理が容易で、給水場で使用しています。
苛性ソーダ	1,650 t	鉛給水管から鉛が溶出しにくいpHレベルにするため、浄水工程の最後にpH調整に使用します。
粉末活性炭	2,835 t	においの原因物質を吸着します。

CO₂は二酸化炭素、NO_xは窒素酸化物、SO_xは硫黄酸化物のことです。

CO₂は代表的な温室効果ガスで地球温暖化の原因となり、NO_xやSO_xは大気汚染の原因となります。